

なすしおばら

広報

12²⁰⁰⁷.5
No.71



第2回那須塩原ハーフマラソン大会

11月3日(土)、第2回那須塩原ハーフマラソン大会がくろいそ運動場を発着地点として開催されました。

この日は天候に恵まれ、さわやかな秋晴れの下、2351人の参加者たちは6つのコース(ハーフ・5km・3km・2km・1km・ランウオーク)に分かれて、黒磯地内を疾走していきました。

また、ハーフコースの優勝者には、来年の秋に開催されるマウイマラソン(ハワイ)への招待状が贈られました。

CONTENTS【もくじ】

■年末年始業務一覧	2 p
■特集 学校給食は今	4 p
■学校だあ〜いすき	12 p
■タウトビックス	14 p
■くらしの情報	16 p
■マナビの伝言板	20 p
■ちびっ子スナップ	24 p



年末年始業務一覧

○市役所業務・各施設など

	施設名	休業期間	☎(0287)
公民館など	市役所業務	12月29日(土)～ 1 月 3 日(木)	
	※出生届や死亡届など、戸籍関係の届け出は休業期間中でも日直で受け付けます。		
	自動交付機	12月31日(月)～ 1 月 3 日(木)	本市民課市民係 (62)7132
	公民館	12月28日(金)～ 1 月 4 日(金)	各公民館または生涯学習課 (37)5364
	那須野が原博物館		(36)0949
黒磯郷土館	(63)1351		
ホール	日新の館		(64)1343
	関谷郷土資料館	12月29日(土)～ 1 月 3 日(木)	(35)4370
	黒磯文化会館	12月28日(金)～ 1 月 4 日(金)	(63)3219
	三島ホール		(36)8531
	那須野が原ハーモニーホール	12月29日(土)～ 1 月 3 日(木)	(24)0880
図書館	黒磯図書館	12月28日(金)～ 1 月 4 日(金)	(63)9031
	西那須野図書館		(36)6001
	塩原図書館		(35)2006
	※各図書館とも図書の返却は返却ポストへ。CD・ビデオ・DVDは壊れるおそれがあるので返却ポストに入れないでください。		
体育施設	くろいそ運動場、那珂川河畔運動公園	12月28日(金)～ 1 月 4 日(金)	くろいそ運動場 (60)1113
	にしなすの運動公園（プールのみ12月25日(火)～ 1 月 4 日(金)の間休館）		にしなすの運動公園 (36)4785
	三島体育センター		三島体育センター (36)4787
	関谷南公園、塩原B&G海洋センター		塩原B&G海洋センター (32)5255
	塩原運動公園	12月 1 日(土)～ 3 月31日(月)	

○保養・健康福祉施設

施設名	休業期間	注意事項	☎(0287)
板室健康のゆ グリーングリーン	12月31日(月)～1月2日(水)	板室自然遊学センターも左記の期間は休館	(69)0232
長寿の湯 (健康長寿センター内)	11月19日(月)～1月中旬	工事のため長期休業中、詳しくは施設に問い合わせてください	(38)1355
塩原温泉湯っ歩の里	通常営業します(年末年始のため、1月3日(木)も営業します)		(32)3101
塩原温泉華の湯	12月29日(土)～31日(月) 1月3日(木)・4日(金)	1月1日(火)・2日(水)の営業時間は、 正午～午後6時です	(財)施設振興公社塩原事業所 (32)3033
遊湯センター	1月1日(火)～3日(木)		
ゆっくりセンター	12月28日(金)～1月4日(金)		(32)5216

○水道（漏水修理当番店）

施設名	黒磯地区		西那須野地区		塩原地区	
	指定工事業者	☎(0287)	指定工事業者	☎(0287)	指定工事業者	☎(0287)
12月29日(土)	㈲磯設備工業	(65)0205	㈱小出熱機工業	(36)0179	㈲薄井設備	(35)2932
12月30日(日)	㈱小畑工業社	(64)2307	㈲手塚電設	(36)2897	㈲森設備	(35)2710
12月31日(月)	九峰工業㈱	(62)0821	㈱地熱工業	(37)0741	㈲薄井設備	(35)2932
1月1日(火)	㈱佐藤設備	(65)2321	昭和水道土木㈱	(36)1778	㈲森設備	(35)2710
1月2日(水)	㈲東日本設備工業	(62)3565	㈲大地設備	(37)8850	㈲薄井設備	(35)2932
1月3日(木)	㈲藤原設備	(68)0948	鈴木電機㈱	(36)0167	㈲森設備	(35)2710
夜間	鳥野目浄水場	(62)0229	千本松浄水場	(36)3145	鳥野目浄水場	(62)0229

○休日当番医

黒 磯 地 区

【昼間】診療時間：午前9時～午後5時

期 日	医療機関(所在地)	☎(0287)
12月29日(土)	ひまわりクリニック(大原間)	(65)4010
12月30日(日)	那須高原病院(那須町)	(63)5511
12月31日(月)	菅間記念病院(大黒町)	(62)0733
1月1日(火)		
1月2日(水)		
1月3日(木)		

【夜間】診療時間：午後7時～10時

12月29日(土)～1月3日(木)	黒磯那須地区休日等急患診療所(黒磯保健センター内)	(63)1100
-------------------	---------------------------	----------

西那須野・塩原地区

【昼間】診療時間：午前9時～午後5時

期 日	医療機関(所在地)	☎(0287)
12月29日(土)	北整形外科内科(三島)	(38)2151
12月30日(日)	小関整形外科(扇町)	(36)0203
12月31日(月)	阿久津整形外科(永田町)	(36)3639
1月1日(火)		
1月2日(水)	関南循環器消化器診療所(東三島)	(36)8211
1月3日(木)	佐藤医院(西栄町)	(36)0147

【夜間】診療時間：午後6時30分～9時30分

12月29日(土)～1月3日(木)	大田原市休日等急患診療所(大田原市保健センター内)	(23)6500
-------------------	---------------------------	----------

○歯科休日当番医

診療時間：午前9時～正午

期 日	医療機関(所在地)	☎(0287)
12月29日(土)	江口歯科医院(大原間西)	(65)2133
12月30日(日)	荒井歯科医院(大原間)	(65)1180
12月31日(月)	大田原歯科医院(住吉町)	(63)9323
1月2日(水)	大野歯科医院(東原)	(60)5180
1月3日(木)	馬渡歯科医院(高林)	(68)1356
1月4日(金)	矢島歯科医院(大原間北)	(65)2830

○道の駅

施設名	休業期間	☎(0287)
明治の森・黒磯	1月1日(火)～3日(木)	(63)0399
旧青木家那須別邸	12月29日(土)～1月3日(木)	
アグリパル塩原(直売所)	12月30日(日)午後～1月3日(木)	(35)4401
アグリパル塩原(レストラン)	12月30日(日)～1月1日(火)	

○し尿処理

休業期間	取扱業者
12月29日(土)～1月3日(木) ※休日の12月24日(月)は通常どおり受け入れます。	(有)ポートワン ☎0287(62)1455 (有)新井衛生社 ☎0287(62)1753 (有)アイワ ☎0287(36)1090 協業組合環境整美公社 ☎0287(23)3231 (有)高安産業 ☎0287(22)3378 株那須清掃サービス ☎0287(74)0516 宇都宮文化センター株 ☎028(633)6171 ※宇都宮文化センター株は塩原地区のみ。

※年末年始は大変混雑するので早めに連絡を。

問い合わせ 那須地区広域行政事務組合 ☎0287(65)3611

○ゆ～バス

路線名	休業期間	運行业者
湯宮線、鍋掛線	1月1日(火)～3日(木)	やしお観光バス株 ☎0120(117)840
黒磯・西那須野線、宇都野線、下大貫線、接骨木線	1月1日(火)～3日(木)	ジェイアールバス関東株 西那須野支店 ☎0287(36)0109
塩原・上三依線	年末年始も運行します	

○ごみ収集・受け入れ(特別収集)

収集日	種類	黒磯地区	西那須野地区	塩原地区
12月30日(日)	燃えるごみ	月・木曜収集地区		直接搬入のみ
12月31日(月)		火・金曜収集地区		全地区
1月3日(木)		月・木曜収集地区		
清掃センターの受け入れ可能日		12月30日(日)、31日(月)、1月3日(木) 午前9時～正午、午後1時～4時30分		

※燃えるごみだけ収集しますので、不燃・資源ごみは出さないでください。1月4日から通常どおりの収集になります。

※不燃・資源ごみは、直接清掃センターに搬入してください。

問い合わせ

黒磯地区 黒磯清掃センター ☎0287(62)0426
 西那須野地区 西那須野清掃センター ☎0287(36)4761
 塩原地区 塩原クリーンセンター ☎0287(32)2439

○火葬場

施設名	休業期間	☎(0287)
那須聖苑	12月31日(月)、1月1日(火)・2日(水)	☎環境課(62)7142
大田原市火葬場		大田原市役所(23)1111

○消費生活センター

休業期間 12月29日(土)～1月3日(木)
 問い合わせ
 消費生活センター ☎0287(63)7900

学校給食に新鮮・安全な地元の野菜が使われています

最近、「食育」ということばをよく見聞します。これは、平成17年に「食育基本法」という法律ができて、「食」について正しい知識を身につけ実践することが、これからの私たちにとって不可欠であるということから、国民全体で取り組んでいこうというものです。発育期の小中学生に昼食を提供する学校給食は、「食育」においてとても重要な役割を担っていますが、この給食に新鮮・安全な地元の野菜が使われています。

小学生と野菜生産者とのふれあい

「質問はありますか？」
「はい！」「はい！はい！」
でも、いつもの授業とはち
よつと違います。なぜなら、
教壇に立っているのは、市内
の野菜農家の人です。

那須塩原市の3つの共同調
理場では、給食に使用する野
菜のいくつかは地元産のもの
を農協から直接仕入れていま
す。

ところが、共同調理場は学
校から遠く離れています。出
来上がった料理からは、どこ
で採れた野菜かわかりません。
給食だよりや献立表で紹介し
ても、あまりピンと来ないの
ではないでしょうか？

私たちのキャベツは、普
通より間を広く開けて植え
ます。
だから、のびのびと育っ
て、おいしくなるんだよ。



熱く語る、黒磯キャベツ部会
益子光一会長

そこで、生産者の皆さんと
学校の子どもたちが、いつし
よに給食を食べながらふれあ
う機会を設けたらどうだろう
？と調理場は考えました。幸
い、校長先生や生産者の皆さ
んからの快い賛同を得て、各
小学校を訪ねることになりま
した。

この日は、豊浦小学校の3
年生の教室です。ちょうど社
会科で郷土の産業を学習して
いるところです。

そこへ、野菜を育てるプロ
フェッショナルの登場です。
みんな興味津々、生産者の皆
さんは給食を食べるのもそこ
そこに、野菜作りの苦労や楽
しさを教壇から語りかけてく
れました。

農業って楽しいですか？



全部食べるぞ！

お代わりするぞ！

ちょっと苦手だっ
たけど、食べると意
外とおいしい...

キュウリは“水”と“肥料”の
バランスです。バランスがとれ
て、すすくと育てばキュウリ
はまっすぐになります。



黒磯キュウリ研究会 高久良一会長

どうして、キュ
ウリは曲がってし
まうんですか？

野菜をいっぱい食
べると、もっと元気
な子になれるぞー！



この日の献立は
コッペパン、フランクソーセージ、いかと
キュウリのマリネ（キャベツも入って）、
すいとん汁、牛乳でした。

食への関心を高め、食の大切さを学ぶ

学校給食の歴史と役割

現在の学校給食は、終戦直後の食糧難を何とか脱した昭和29年に「学校給食法」が制定され、その中で次のように示された目標を達成するために実施されています。

- ①日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うこと。
- ②学校生活を豊かにし、明るい社交性を養うこと。
- ③食生活の合理化、栄養の改善および健康の増進を図ること。
- ④食糧の生産、配分および消費について、正しい理解に導くこと。

つまり、給食は、単なるお弁当の代わりではなく、給食を通して、食事のマナーや、食材の栄養、食事と健康について、さらに農業や運輸などの経済のことなど、さまざまな学習のひとつのきっかけ、いわば生きた「教材」というわけです。

学校給食は、最初から「食育」を実践してきたといえます。

では、今、国民的運動としての「食育」の中で、学校給食は何を求められているのでしょうか？

学校給食は、子どもたちが学ぶための教材、つまり学校内だけのものではなく、家庭や生産者を含む地域社会と手を取り合つて、あらゆる年代の住民の健康を、食事Ⅱ栄養の面から推進していく原動力と考えています。

学校給食で

こんなことも

学校給食は「教材」であるといいました。ならば、できる限り「優れた教材」Ⅱ「よりよい献立」を提供することが第一です。

学校給食の献立は、専任の栄養士が、費用や設備などの制約も多い中で、

- ①食べることの喜びや楽しさを知ってもらうため、おいしく、バラエティに富んでいること。
- ②栄養のバランスと適正なカロリーを満たしていること。
- ③衛生的に調理できること。

など、工夫を凝らして立てています。

さらによい「教材」Ⅱ「献立」にするには、できれば、食材にもこだわりたい、安心・安全はもちろんのこと、食材に興味を持つことで、子どもたちの「食」に関する学習はさらに広がるのではないのでしょうか。

地場野菜を給食に

地元生産者から直接野菜を購入する取り組みは、合併によつて本市が誕生する少し前、平成15年に当時の黒磯市で、農務課の呼びかけで集まった

「地場農産物学校給食利用に関する推進会議」が始まりました。

給食に地場野菜というところ、学校の近くの農家が少量ずつ作った野菜を持ち寄つてというイメージがありますが、当時の黒磯市は、2つの共同調理場ですべての学校分を調理していました。そのため機械処理のための統一した規格、一日の使用量が半端でないといった条件のクリアが必要になりました。

会議で話し合う中、「自分の子どもや孫の食べるものだから、自分たちが育てた安心安全なものを、ぜひ！」とい



キュウリのハウス



広がるキャベツ畑

う熱意から、農協の中のキャベツ部会とキュウリ研究会が協力してくれることになりました。

年々、品目を増やし、合併してからは、市の3つの共同調理場に広がっています。

後から加わった、ネギ、ニラは、本市は全国でも有数の産地です。いつもはトラックで東京などの市場に運ばれますが、給食の注文が入ったときは、直接調理場に配達されます。

ですから、何しろ新鮮なのは間違いないし、もちろんキャベツ、キュウリも同じです。

今年初めて加わったウドも全国的に有名です。そのウドをぜひ地元の小中学生にも味わってほしい、という生産者からの申し出で、最もおいしい冬に初めてチャレンジしてみることにしました。独特のかおりをどうやったら給食のメニューにいかせるか、子どもたちが喜んでくれる調理法はどんなものがあるか、今、栄養士が思案中です。

食育と学校給食

学校給食を通しての食育を考えたとき、子どもたちの食料に対する興味、関心をどう呼び起こすか、そこから望ましい食事について考え、将来、自ら正しい食生活を実践する力を身につけるための大切な学習の機会であるべきです。

生産者の給食訪問という取り組みは、食料に対する子どもたちの興味を大いに刺激してくれたのではないのでしょうか。

参加された生産者からは、直接子どもたちに語りかけることで、少しでも農業に対する興味を持ってもらい、そこから何人かでも「未来の日本の農業の担い手」が出てきて

表1 本年度の学校給食で使われる野菜のうち、市内の生産者から直接納入されるのは次の5つです。

使われる時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
キャベツ												
キュウリ												
ネギ												
ニラ												
ウド												

くれればという、強い思いを聞くことができました。

このような訪問が、学校と生産者を直接結びつけるきっかけとなり、子どもたちが実際に畑を訪ねたり、給食時間だけでなく授業に生産者を招いて詳しい話を聞いたり、さまざまな活動に発展していったら、とても素晴らしいことだと思えます。

家庭での食事が大切

学校給食は、学校のある日の昼食、年間約200回です。1年365日、1日3食として1年間に1095回の食事のうちの2割に達しません。残りの8割以上は家庭での食事です。

学校給食のさまざまな努力も必要ですが、家庭での食事

が一番大切なのは言うまでもありません。

親から子へ、子から孫へと代々受け継がれてきた日本の食文化。今、健康志向の中で世界中から注目されています。これからも絶やすことなく引き継いでいきたいですね。

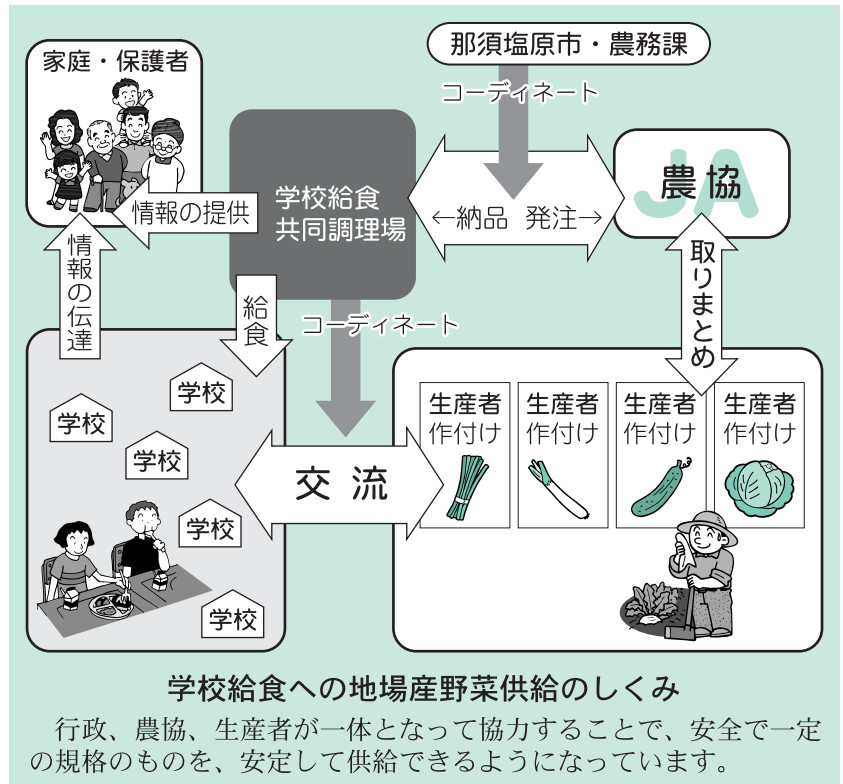


表2 本年度の給食で地場産野菜が使われる予定量 (注: %は、1年間に使う全体の量に占める割合です。なお表1で示されている期間は100%です。)

	黒磯共同調理場		共英共同調理場		西那須野共同調理場		合 計	
キャベツ	8,400kg	50.6%	3,790kg	57.1%	8,000kg	47.6%	20,190kg	50.4%
キュウリ	2,200kg	46.8%	770kg	54.0%	3,450kg	44.8%	6,420kg	46.4%
ネギ	2,500kg	69.3%	1,260kg	59.9%	3,950kg	62.7%	7,710kg	64.2%
ニラ	165kg	100.0%	244kg	100.0%	30kg	100.0%	439kg	100.0%
ウド	20kg	100.0%	20kg	100.0%	20kg	100.0%	60kg	100.0%
給食を届けている学校	黒磯小学校 稲村小学校 東原小学校 埼玉小学校 大原間小学校 波立小学校 高林小学校	穴沢小学校 戸田小学校 青木小学校 黒磯北中学校 東那須野中学校 高林中学校	豊浦小学校 共英小学校 鍋掛小学校 寺子小学校 厚崎中学校 日新中学校		三島小学校 槻沢小学校 東小学校 南小学校 西小学校 大山小学校	三島中学校 西那須野中学校	小学校 20校 中学校 8校	

地産地消とは…

文字どおり、**地元**で**生産**した農林畜水産物を**地元**で**消費**しようという取り組みのことをいいます。

消費者から見たメリット

- 1 産地と消費地が近いので、取れたて新鮮な食材を手に入れることができます。
- 2 生産者の顔が見える、話ができる関係から、地場産物への関心や愛着が深まります。

生産者から見たメリット

- 1 消費者の顔が見える、話ができる関係から、より安全・安心な作物の生産に意欲がわきます。
- 2 生産量が少なくてもよいので、小規模農家や、高齢者でも取り組むことができます。

もうひとつ付け加えれば、輸送距離が短くなるので、輸送にかかる燃料（コスト）が少なくて済みます。そう、CO₂の削減＝地球温暖化防止にもなります。

まさに、一石三鳥！ というわけで、地産地消は、地域おこしの起爆剤として日本各地でさまざまな取り組みが展開されています。

市内のあちこちにも直売所が開設され、にぎわっています。最近ではスーパーにも地場産物コーナーが設けられています。地場産物を使ったレストランや、加工品の製造・販売もさかんになってきています。



地元農産物を持った
みるひいちゃん

那須塩原市は牛乳の大産地でもあり、給食のご飯・牛乳は、もちろん地元産を使用しています。



市の地産地消の取り組み

地産地消に欠かせないものに食の基本となる農産物があげられます。

現在、市では「第一次那須塩原市総合計画」で示された農業の振興施策として、安全・安心・安定した食づくりを推進しています。

特に、地産地消を推進するため平成18年度に策定した「那須塩原市地産地消推進計画」を基本として、各種の事業に取り組んでいます。

①農産物を作る。
②生産された農産物を販売する。
③農産物を加工する。
④消費者と生産者との交流を図る。
⑤学校給食へ農産物を提供する。

業に取り組んでいます。地産地消の取り組みは多岐にわたっていますが、主な取り組みとして
①農産物を作る。
②生産された農産物を販売する。
③農産物を加工する。
④消費者と生産者との交流を図る。
⑤学校給食へ農産物を提供する。

重要な取り組みと考えています。次代を担う子どもたちには食の大切さを伝え、実践すること理解を深め、結果として「食育」につながるものと思われま。

今年度から実施している生産者と子どもたちの交流事業である「産給（サンキュウ）交流事業」を、継続的に、より効果的に実施していきたいと考えています。

学校給食共同調理場のお勧め

“地元野菜の自慢レシピ”

黒磯学校給食共同調理場

ちくわとキュウリの中華あえ

材料：ちくわ、キャベツ、キュウリ、ニンジン、ワカメ
※たっぷりの野菜と、ちくわ、ワカメをゆでて、砂糖や酢、しょうゆ、ごま油で中華風に味付けした料理です。
味の決め手は何といっても、ごま油。

共英学校給食共同調理場

キャベツとがんもの味噌汁

材料：キャベツ、がんもどき、エノキタケ、みそ、だし（いり子がベター）
※季節によってはサトイモもよく合います。キャベツはたっぷり入れます。
煮ると生で食べるよりたくさん食べられます。キャベツの甘味がなんともいえない具だくさんの味噌汁です。

はるさめサラダ

西那須野学校給食共同調理場

材料：はるさめ、キュウリ、モヤシ、ハム
※はるさめ、野菜をゆでて、しょうゆ・ごま油・酢・白ゴマで作った中華風ドレッシングをあえます。
よくリクエストされる人気の献立です。家庭で作るときは、地元産ウドを加えてもおいしいですよ。

問い合わせ

【学校給食】

黒磯学校給食共同調理場

☎ 0287(62)0993

共英学校給食共同調理場

☎ 0287(64)1813

西那須野学校給食共同調理場

☎ 0287(36)0095

【農業（地産地消）】

農務課

☎ 0287(62)7147

市の発展に尽くされた 42人の皆さんを表彰



市勢の振興発展に尽力された皆さんを表彰する「平成19年度那須塩原市表彰式」が11月2日(金)、黒磯文化会館で行われました。

今年は、42人の功労者に、表彰状と記念品が贈られました。

表彰された皆さんを紹介します。(敬称略)

地方自治功労

大関 克夫(井口)
猪瀬 清(上赤田)
坂内 敏夫(塩原)
深町 彰(鍋掛)
川嶋 榮太郎(越堀)
松本 照代(上中野)
吉川 利子(島方)
濱本 喜美子(東三島6丁目)
伴内 峰子(下永田3丁目)
丸山 富弥(東栄2丁目)

社会福祉功労

鈴木 勝江(西栄町)

保健・衛生・環境功労

相良 ケイ(住吉町)
田代 フミエ(関根)

消防・水防・防犯・交通安全功労

後藤 勇一(関根)
柴田 康弘(扇町)
新田見 敦行(三島2丁目)
君島 将介(塩原)
小寺 敏博(上塩原)
君島 富士夫(上塩原)
郡司 政彦(墓沼)
織田 勝徳(折戸)
小沼 秀一(接骨木)
有本 秀雄(橋本町)
板橋 義明(美原町)
梶本 勝(豊浦北町)
増渕 勲(三区町)
赤羽 光江(太夫塚1丁目)
和氣 文雄(上大貫)

教育・文化・スポーツ功労

小沼 一郎(西朝日町)



表彰式で名前を呼ばれ、起立する受賞者の皆さん

金品の寄附

渡辺 剛(さくら市)
藤沼 昇(大田原市)
神先 御那子(大田原市)
手塚 カナ子(那須町)
高根澤 マサ(千葉県船橋市)
渡辺 民彦(那須町)
室井 三代吉(板室)

ボランティア活動功労

甲谷 昭次(二区町)
高根沢 広之(高林)
小熊 政二(佐野)
那須野巻狩踊りお囃子会(共壘社)
黒磯巻狩太鼓(共壘社)

黒磯公園愛護会(弥生町)



受賞者を代表して謝辞を述べる黒磯巻狩太鼓の安宅会長

問い合わせ
秘書課

0287(62)7108

秋の叙勲・褒章

永年の貢献に荣誉

秋の叙勲および褒章が発表され、本市から深澤さんが瑞宝双光章に、松本さんが瑞宝単光章に、梶本さんが藍綬褒章を受章されました。おめでとうございます。

瑞宝双光章

消防

深澤 正智 氏

東町 六十八歳



昭和38年西那須野町消防団入団。昭和49年同消防団部長、同61年分団長、平成4年副団長を経て、平成12年西那須野町消防団団長に就任し、平成16年3月退団。

在職中は県北初の女性消防団の設立や若き団員の技術向上、消防団祭りの充実による団員の人員確保に努めるなど、地域の安全を守る消防団の活性化に尽力されました。

「このたびの荣誉ある叙勲に浴し感謝の気持ちで一杯です。

消防関係者をはじめ、先輩の方々、そして団員の皆様より暖かいご指導、ご支援のたまものであると思っております。

これから地域社会のために役立つよう微力を尽くしてまいりたいと思っています」と話してくれました。

瑞宝単光章

地方自治

松本 義勝 氏

西三島 六十五歳



昭和38年に栃木県職員となり、那珂川水系河川改修事務所、大田原土木事務所、矢板土木事務所を経て矢板林務事務所に勤務し、平成15年3月に退職。

在職中に、全国植樹祭・育樹祭などを体験。また、平成10年8月末に那須地域を襲った水害のときには、記録的な大雨と雷鳴が轟くなか、救援物資を那須町に届けました。「濁流は道路を覆い、乗っていた車は右に左にと小舟のように流され、そのときの恐怖と、物資を届けるという使命感を、今でも鮮明に覚えています」と話す松本さん。

「このたびは、予期せぬ叙勲を受けることになり、今までご指導・助言をいただいた皆さんや、家族に感謝します。今後は『日は好日』で頑張りたいと思います」と話してくれました。

藍綬褒章

自然保護

梶本 榮 氏

豊浦北町 七十二歳



小学校教員として40余年の勤務の傍ら、山岳会の仲間と山歩きを続けて50年（内会長28年）、その間、那須山岳遭難防止対策協議会理事として45年、山岳救助隊副隊長として35年間、那須連山における遭難者の捜索および救助に尽力。

また、環境省委嘱の自然公園指導員としては、美しい郷土をいつまでも美しく保護し、多くの人が、自然の恵みを享受出来るよう指導と啓発にも力を尽くされています。

「長い間この活動が続けられたのは多くの仲間のご支援とご指導、さらには家族の協力があったればこそです。その意味では今度の受章は一人私だけのものではなく、それらの人々と一緒にいただいたものと考えています」と語ってくれました。



学校 だあ〜い すき

はっ たち 波立小学校

学校紹介

本校は明治7年、那須郡第六番学区教民学舎と称し開校しました。当時は民家を借り受け、校舎に充てていたそうです。その後数回新築・移築を繰り返し、現在の地に3階建てのモダンな校舎が落成したのは平成9年のことです。創立134周年目の今年度は、92人の児童が在籍しています。

■きたえる波立つ子

「きたえる」というとすぐ体を鍛えるというイメージにつながりますが、決してそうではなく、心も共に鍛えるということが本校教育の大きな目標です。豊かな心、強い体を培うために、さまざまな教育活動が行われています。

たとえば、朝の自主活動の、

所在地 波立228番地
創立 明治7年10月1日
校長 植竹 京子
児童数 92人
教育目標 人間尊重の精神に徹し、変化する社会にたくましく、主体的に対応していくことのできる、心豊かな人間を育成する。
きたえる子
知恵のある子
思いやりのある子

時間には、一年中校庭をひた走る児童の姿が見られます。暑い日も寒い日も風の強い日も。この成果を試すのが、年3回行われる校内マラソン記録会です。目標とする前回のタイムを破るには、体力ばかりでなく強い精神力も大いに必要となります。

■豊かな表現力の育成
3年前から、「チャレンジ・ザ・ワード」と称し、授業中出てきた言葉に興味をもたせ、学年の発達段階に応じて休み時間や家庭学習などで調べたり、暗唱したりする活動を全校体制で行ってきました。たとえば、ことわざ集め、慣用句集め、名文の暗唱・視写、朗読、四字熟語集め、英単語集めなどです。最近子どもたちの会話の中に、ことわざを

波立小の教育目標は、きたえる子、知恵のある子、思いやりのある子です。体、心をきたえるために、私たちは年三回あるマラソン記録会を行っています。駅伝大会では三年連続優勝を目指し、朝、昼休み、放課後に練習をしています。私の目標は、駅伝大会のメンバーに入り、優勝することです。知恵をつけるために、私たちは波小祭の練習に今はがんばります。毎年、十一月に行われている地域の人たちにとって、とても楽しおにしているお祭です。

学校
じまん



波立小の教育目標は、きたえる子、知恵のある子、思いやりのある子です。体、心をきたえるために、私たちは年三回あるマラソン記録会を行っています。駅伝大会では三年連続優勝を目指し、朝、昼休み、放課後に練習をしています。私の目標は、駅伝大会のメンバーに入り、優勝することです。知恵をつけるために、私たちは波小祭の練習に今はがんばります。毎年、十一月に行われている地域の人たちにとって、とても楽しおにしているお祭です。

思いやりの心を身につけるために、私たちは、あいさつを心がけています。私たちは、先生や地域の人に会って、必ずあいさつをします。私はこの活動は、とてもよい活動だと思います。あと、思っています。なぜなら、あいさつはしている方もされる方もとても気持ちがいいことだと思っているからです。

国民年金 からのお知らせ

国民年金保険料の納付が困難なとき 30歳未満の人は「若年者納付猶予」 の申請手続きを

30歳未満の人に限り利用できる制度です

就職が困難あるいは失業などで収入が少なく、保険料の納付が困難なときは、市の国民年金係窓口申請してください。後日、社会保険事務所が前年所得などを審査して、結果（承認・却下）の通知書を送付します。

▶対象

- ①「申請者本人」「申請者の配偶者」それぞれが前年所得（収入）などの定められた基準に該当することが必要です。

納付猶予の対象となる所得（収入）のめやす

扶養人数	所得（収入）
3人扶養（夫婦・子2人）	162万円（257万円）
1人扶養（夫婦のみ）	92万円（157万円）
扶養なし	57万円（122万円）

- ②失業、倒産、事業の廃止などにあったことが確認できる人

▶納付猶予の承認期間

- ・7月（または20歳誕生月）から翌年6月まで
- ・途中で30歳になる人は、30歳誕生月日の前月まで

▶申請手続きに必要なもの

- ・年金手帳または基礎年金番号のわかるもの（納付書など）
- ・印かん

※失業などを理由とするときは、次の書類のいずれかが必要です。

- ▷雇用保険受給資格者証（コピー可）
- ▷雇用保険被保険者離職票（コピー可）
- ▷雇用保険被保険者資格喪失確認通知書（コピー可）
- ▷事業休止・廃止届の写し

▶その他（国民年金の受給要件）

- ・老齢基礎年金の受給資格期間に入ります。
 - ・年金額には反映されません。
 - ・障害基礎年金や遺族基礎年金を請求するときは、保険料を納めたときと同じ扱いになります。
 - ・10年以内なら、後から納めることができます。
- ただし、3年目以降は加算額が付きます。

問い合わせ

大田原社会保険事務所 ☎0287(22) 6313

☎保健課 ☎0287(62) 7130

☎保健課 ☎0287(36) 1111 内線139

塩市民福祉課 ☎0287(32) 2988



チャレンジ・ザ・ワードの発表

引用して話したり、学んだ言葉を使ったりと、会話に広がりが見られるようになってきました。

■地域との連携
運動会や波小祭（学校祭）をはじめとし、行事や教科の



校内マラソン記録会

学習で保護者や地域の方々に大変お世話になっていきます。冬休み明けには、地域の高齢者や児童の祖母が来校し、だんごづくりを教えていただきますが、うるち米は地域の指導者に教えるを受けて収穫し、



小正月のだんごづくり

だんごを刺すミズキはPTAの計らいで準備をしていただいています。小正月という昔ながらの行事が本校では今も続いています。

これもまた小規模校ならではのことで

私は、明るくて元気な波立小学校をほこりに思っています。	今年私は波立小学校を卒業します。卒業してから、マラソン記録会や波小祭、気持ちのよいあいさつもつづけていってほしいと思います。	います。	中学校に行っても、気持ちのよいあいさつや駅伝、陸上をつづけていろいろな大会に出場したいと思っています。
-----------------------------	--	------	---